

研究講座

(公社)横浜市幼稚園協会
会長 清水純也
教育研究部長 高木彩子

『こどもかいぎ』の上映

映画

日時：2025年4月23日(水)14：30－16：30

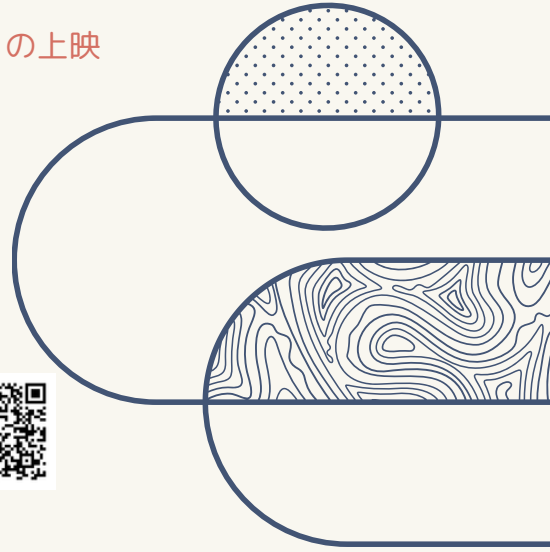
講師：渡邊 英則 先生（関東学院大学教育学部講師）

会場：かながわようちえん会館

俯瞰図番号：E5

定員：60名

申込み：ゆたかなまナビ 3月4日(火)～4月18日(金)



この映画は、2022年に公開されました。こどもが自分の考えを言葉にして相手に伝える・相手の話を聞き理解することは、人間関係を築き安定して生活できるようになるために欠かせないことです。みなさんの園の子ども達はどのように？

子ども達の育ちを支える私たち保育者が子どもとの関わり方を改めてみつめるきっかけとなると思います。

まだ見ていない方にも、見たことのある方にも気づくことや感じる事がある映画です。
是非皆様ご参加ください。

講師：内閣府
推薦：厚生労働省

おとなの
みなさん、
ちゃんと
話し合って
いますか？

なんで
うまれたの？

みんな
違う考えで
生きているんだ！

こどもかいぎ

『うまれる』シリーズ
企画・監督・撮影：**斎田トモ** ナレーション：**糸井重里**

原案：『ビューティフル・ホーム』ゴダイゴ 作詞：宮島博子・伊藤アキラ 作曲：タケカワユキヒツ
2022年/ドキュメンタリー/85分/カラー/ビスタ/ステレオ
配給：AMGエンタテインメント

話し合えば
いらいに
どうして戦争なの？

話し合おう
どうなの？

https://www.umarenu.jp/kodomokaiji/

対話の本質ってなんですか？意味を子どもたちが教えてくれる

世界一おかしくて、世界一だじな会議。はじまります！

本作のテーマは「対話」。ロシア・ウクライナの情勢や、長引く新型コロナウイルスなど、世界中が不安の渦に巻き込まれている今、大人はきちんと「対話」ができていますか？子どもたちの声を聞けていますか？

正解のない現代社会で、人とつながりや対話が
一層重要になっている今、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちの目線に立って世界を見るのが、
実は社会が抱える様々な課題を解決するヒントになるのではないかと
そんな思いから本作が誕生しました！

子どもたちから届けられる**奇想天外な発想**と、まっすぐな言葉には、思わず笑い、時にハッとさせられます。
舞台となるのは、多くの子どもたちが社会生活の第一歩を踏み出す場所、保育園。

いつも全力で、まっすぐな子どもたちは、そこで何を考え、**無限の可能性**をどのように伸ばしていくのか――。
様々なテーマで、輪になって話し合う『こどもかいぎ』の中で、自分の想いを一生懸命に言葉にする子どもたち。
「こたえのない人生をテーマに、時には喧嘩をしながら、「対話」の中から他者への配慮や優しさを学んでいます。
未来ある小さな賢者たちが、私たち大人にコミュニケーション力の原動力を気づかせてくれる作品が出来上がりました！
ナレーションは、人と人を繋ぐ言葉の魔術師**糸井重里**さん。包み込むような優しい声が本作の魅力を伝えています。
主題歌はゴダイゴの名曲『ビューティフル・ホーム』。子どもたちの輝かしい未来を期待させるエンディングとなっています。
虐待、いじめ、貧困、自殺から子どもを救うのは「対話」かもしれない――。

累計100万人を動員したドキュメンタリー映画
『うまれる』シリーズを生み出した、
監督とメインスタッフが再集結！

企画・監督・撮影：斎田トモ
子どもたちの「かいぎ」は、笑いこらえられず、
カメラが揺れてしまうほど面白かった。でも、
そんな笑いの中から、「対話」が子どもたちの
持っている力を伸ばし、いじめや不登校、虐待など、彼らを取り巻く社会
問題の解決につながることを確信した。正解の見えない社会で、大人が
残せるものは、こたえではなく、こたえの導き方なのだ教えてもらった。

推薦：厚生労働省 後援：内閣府/日本保育協会/公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/認定NPO法人フローレンス

こどもかいぎ

企画・監督・撮影：斎田トモ ナレーション：糸井重里
プロデューサー：中山野子 編集：滝澤三菜 / プロダクションマージョー 撮影：藤田真由、宮原勝子 コーディネーター：山下真
音楽：『ビューティフル・ホーム』ゴダイゴ 作詞：宮島博子・伊藤アキラ 作曲：タケカワユキヒツ
2022年/ドキュメンタリー/85分/カラー/ビスタ/ステレオ
配給：AMGエンタテインメント

https://www.umarenu.jp/kodomokaiji/

